

## 平成3年度農協高齢者対策リーダー養成研修会修了

～農協ホームヘルパー第一期生38人誕生!!～

J A 富山中央会 藤 畑 満

### I. はじめに

全国的に高齢化が進展しており、特に富山県は全国平均（12.1%）を上回って進行して、平成2年の老年人口（65歳以上の人口）は、169,000人で総人口に占める割合は15.1%となっている。

平成33年（30年後）には27%以上に達すると予想されている。まさに4人に1人が老年になる。

特に農村の高齢化は、都市部に比べて20年以上進んでいるといわれ、高齢化の著しい農村社会の活力低下を防ぐため、住み慣れた家、住み慣れた協同の社会で心豊かにくらしをもらうため、誰もがみずからの課題としてとらえ、高齢者を地域ぐるみ、助け合いの輪で介護し、家族の負担軽減を図り、人生80年時代をいきいきと生きがいをもって暮らせるように、地域全体で適切な対応を図っていく必要がある。

### II. 厚生省「高齢者保健福祉推進十か年戦略」～（いわゆるゴールドプラン 平成11年度までの10か年目標）について～

高齢者の保健福祉の分野における公共サービスの基盤整備を進めることとし、在宅福祉、施設福祉等の事業について、今世紀中に実現を図るべき10か年の目標を厚生省が掲げ、これらの事業の強力な推進を図ることとした。事業内容は下記のとおりである。

#### 1. 市町村における在宅福祉対策の緊急整備

～在宅福祉推進十か年事業～

##### (1). ホームヘルパー

元年度	31,405人実績
2年度	35,905人実績
11年度	100,000人

##### (2). ショートステイ

元年度	4,274床実績
2年度	7,674床実績
11年度	50,000床

##### (3). デイサービス

元年度	1,080か所実績
2年度	1,780か所実績
11年度	10,000か所

##### (4). 在宅介護支援センター

元年度	0か所実績
2年度	300か所実績
11年度	10,000か所

(5). ショートステイ、デイサービスセンター及び在宅介護支援センターを全市町村に普及させる。

(6). 在宅福祉事業の実施主体（財団法人たる公社等）を全市町村に普及させる。

(7). 「住みよい福祉のまちづくり事業」を推進する。

#### 2. 「ねたきり老人ゼロ作戦」の展開

#### 3. 在宅福祉等充実のための「長寿社会福祉基金」の設置

#### 4. 施設の緊急整備～施設対策推進十か年事業～

(1) 特別養護老人ホーム 24万床

- (2) 老人保健施設 28万床
- (3) ケアハウス 10万人
- (4) 過疎高齢者生活福祉センター 400か所
- 5. 高齢者の生きがい対策の推進
- 6. 長寿科学研究推進十か年事業

尚、この1～6の中で、厚生省は在宅福祉対策の整備に特に重点をおき、ホームヘルパー、ショートステイ、ディサービスを在宅“3本柱”とした。

### Ⅲ. 平成3年度農協高齢者対策リーダー養成研修会(農協ホームヘルパー研修会)について

この研修は、厚生省のゴールドプランにもとづき、在宅福祉の充実の柱であるホームヘルパーを養成するもので、厚生省が定めた統一基準の講義、実技、実習からなり、研修時間や、講義内容により、一級(指導的コース)から三級(入門コース)の三コースを設置。平成3年度に取り組んだのは、三級課程で、高齢者を抱える家庭の、食事や洗濯などの家事援助が目的。研修修了者には、公的修了証を交付した。昨年10月より延5泊6日(一泊2日、3回合同研修、講義18時間、実技16時間、実習8時間)合計42時間、(カリキュラム、講師内容は別紙のとおり)にわたり実施した研修会は、今年2月19日に終了した。

全国の都道府県37県の農協が平成3年秋より取り組み、平成4年3月末には全国で2千人のホームヘルパーが誕生の予定。尚、今後、5か年間に延1万人のホームヘルパーを全国で養成しようというもの。

### Ⅳ. 研修会の風景“アラカルト”

昨年10月より始まった第Ⅰ期においては、講義ばかりで(14時間7項目)いささか緊張ぎみであったが、ホームヘルパー協議会会長、松原さんの経験を踏まえた話しや、ヘルパー基本的心得十ヶ条「させていただく」心の問題、ノーマライゼーション等、受講生には、

自らの高齢者問題、助け合い活動、心を結ぶ活動としての芽ばえが、出てきたようだった。Ⅱ期は雪の降る中、12月、施設(特別養護老人ホーム、ディサービスセンター)での実習が大変印象的であった。

一人で昼ぼつんと家にいるより、みんなで話しをし、食事をする事の楽しさ、笑い顔、そしてそれを支える寮母さん、その中に経済、効率優先主義の現代日本の何か忘れてきたものをみる思いがした。

「〇〇さん、どう気持ちいいー。あーとっても楽だよ。ありがと、ありがと」と外は寒い雪の降る季節なのに、暖かく声をかけあいながら、実習する受講生。

そこには、Ⅰ期での受講のとまどいを感じさせない、自信にあふれた表情があった。



年が明けて、Ⅲ期は、初回訪問における事例実技演習であった。「ごめん下さい。〇〇農協から来ましたホームヘルパーの〇〇です。〇〇さん、どうですか……」と2人1組になったの演習、厚生連杉原総婦長の事例にもとづいたグループ演習、受容傾聴、話しをし、心が通じる事の大変さ等、受講生全員で体験し共有しあった。

さて、いよいよ修了式。中央会八木専務より、農協高齢者対策の中で、ホームヘルパーとしての重要性等の挨拶を受け、受講生代表竹部県農婦協会会長に修了書が授与された。その後、“誓いのことば”が受講生代表によりあ

り、全員一つの輪をつくり、キャンドルサービスを行い、この輪がもっともっと大きくなるように赤い灯にたくして誓い合った。皆の目からは“感動”と“助け合いへの思い”の暖かい、さわやかな涙があふれていた。

#### V. むすびにかえて～今後の農協高齢者対策のすすめ方について～

この研修会で学び、経験したホームヘルパーの心構えや、施設での介護実習、老人等家庭訪問技術実技をバッグに入れて、今第一期生38人は、地域へ、農村へ、リーダーとして旅立った。この研修会で学んだことを農村、地

域でどう活かし、活動していくのか!!。農協の体制づくり、行政関係機関との連携が急がれる。

頼られる農協、助け合いのある心豊かな農村、地域社会を築くために、農協ホームヘルパー研修会等を通じて、地域リーダーのすそ野を広げ（平成4年度は3級課程研修を2回実施、約70名誕生予定）、高齢者のニーズの掘り起こし、実態把握を行ない、自らの課題として、高齢者問題を取り上げ、共にふれあい、助け合い、心豊かな“いきいきわがむら、わが町づくり”運動を展開しようではありませんか。

農協高齢者対策リーダー養成研修（ホームヘルパー3級課程養成研修）カリキュラム講師名簿内容

	月日	時 間	所 属	職 名	氏 名	講 義 内 容	
第 一 期	10月23日 (水)	9:15~10:00	富山県農協中央会	組織政策課々長	伊藤 孝邦	農協高齢者対策活動のすすめ方	
		10:00~12:00	ホームヘルパー協議会	会 長	松原 良子	ホームヘルプサービス入門	
		13:00~15:00	県 高 齢 福 祉 課	課 長	富田 宗哉	老人の福祉	
		15:15~17:15	県 障 害 福 祉 課	主 幹	高木 英範	障害者の福祉	
	10月24日 (木)	9:00~10:00	ビ デ オ 研 修				①コープくらしの助け合い活動（澁神戸生協） ②高齢化社会と介護
		10:00~12:00	富山県厚生進滑川病院	副 院 長	刑部 侃	老人・障害者の心理	
		13:00~15:00	“ “ 高岡病院	健康 管理 部長 副 総 看 護 婦 長	川東 正範 月安 文子	医学基礎知識	
		15:15~17:15	“ “ “	“	月安 文子	介護概論	
第 二 期	12月11日 (水)	9:30~11:30	“ “ “	総 看 護 婦 長	杉原 正枝	家事援助入門	
		13:00~17:00	“ “ “ 滑川病院	“ 食 養 課 長	杉原 正枝 田嶋多喜子	調理実習 (実技) (老人食・電磁調理器の扱い等)	
	12月12日 (木)	9:00~12:00	①敬 寿 苑 : 富山市今泉石田割514-6 施 設 長		林 勳	(実習) ディサービスセンターにおける見 学・実習	
13:00~14:00		②富山ファミリーホーム : 富山市地川189 施 設 長		森本 俊			
		14:00~18:00	① 同 上 ② “			特別養護老人ホームの見学 (実習)	
第 三 期	2月18日 (火)	9:30~11:30	富山県厚生進高岡病院	総 看 護 婦 長	杉原 正枝	対人援助技術	
		11:30~12:30 13:15~17:15	“ “ “	“ 看 護 婦 長	杉原 正枝 山田山美子	老人等訪問技術講習 (実技) (家庭訪問技術の講習)	
	2月19日 (水)	9:00~12:00 13:00~17:00	“ “ “	総 看 護 婦 長 看 護 婦 長	杉原 正枝 山田山美子	(実技) 上記にもとづく事例発表	

農協高齢者対策リーダー養成研修（ホームヘルパー3級課程養成研修）会日程

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
第一期	10月23日 (水)		8:30 ～9:00 受付	開校 会挨拶 9:15 ～10:00 農協高齢者 対策活動の すすめ方 (講義1)	10:00 ～12:00 ホームヘルプ サービス入門 (講義2)	12:00 ～13:00 昼食	13:00 ～15:15 老人の福祉 (講義3)		休憩	15:15 ～17:15 障害者の福祉 (講義4)		休憩	17:30 ～19:30 懇親会	19:30 ～21:30 入浴・相互交流			
	10月24日 (木)	7:30 ～8:15 朝食	休憩	9:00～10:00 30分 ビデオ ①	10:00 ～12:00 老人障害者の心理 (講義5)	12:00 ～13:00 昼食	13:00 ～15:00 医学基礎知識 (講義6)		休憩	15:15 ～17:15 介護概論 (講義7)		解散					
第二期	12月11日 (水)		8:30 ～9:30 受付	9:30 ～11:30 家事援助入門 (講義8)	30分 ビデオ	12:00 ～12:45 昼食	13:00 ～17:00 調理実習 (実技1)					移動・ 休憩	17:30 ～18:30 夕食	18:30 ～21:30 入浴・相互交流			
	12月12日 (木)	7:30 ～8:15 朝食	移動	9:00 ～12:00 ディ・サービスセンターにおける 見学・実習 (実習1)		12:00 ～13:00 昼食	13:00 ～14:00 同左	14:00 ～18:00 特別養護老人ホームの見学 (実習2)					移動・ 解散				
第三期	2月18日 (火)		8:30 ～9:30 受付	9:30 ～11:30 対人援助技術 (講義9)	11:30 ～12:30 老人等家庭訪 問技術講習 (実技2)	12:30 ～13:15 昼食	13:15 ～17:15 老人等家庭訪問技術講習 (実技2)					休憩	17:30 ～18:30 夕食	18:30 ～21:30 入浴・相互交流			
	2月19日 (水)	7:30 ～8:15 朝食	休憩	9:00 ～12:00 老人等家庭訪問技術講習にもとづ く事例検討 (実技3)		12:00 ～13:00 昼食	13:00 ～17:00 老人等家庭訪問技術講習にもと づく事例検討 (実技3)				17:00 ～17:30 閉会挨拶	解散					